



議員でつくる広報

# むかわ町議会だより



さあ、新たなスタート!!



- 2P～3月定例会
- 5P～第1回臨時会・全員協議会・むかわ学
- 6P～令和7年度予算審査特別委員会
- 10P～ここが聞きたい！7人の議員が一般質問
- 18P～委員会報告
- 21P～活動状況
- 22P～出前議会

# No. 72

2025.4.30 発行



むかわ町議会

☎054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地



議会広報委員会

☎ 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

# 第1回議会定例会

令和7年度第1回定例会は3月10日～14日の5日間で開催し、町長並びに教育長の執行方針が示されました。7名の議員が一般質問を行い、報告1件、同意1件、議案36件は原案の通り可決しました。議員発議2件が可決、意見書は3件が可決されました。

審議結果は抜粋して報告とします。  
\*詳しくはYouTubeでご視聴ください。

## 【議案】

- 第2号 業務委託契約の変更に関する件
- 公の施設に係る指定管理者の指定に関する件
- 第3号 穂別まちなか交流拠点施設
- 第4号 樹海温泉「はくあ」「ほべつ」
- 第5号 穂別豊進国民休養地野営場「穂別キャンプ場」
- 第6号 アースギャラリー
- 第7号 ゼロカーボン推進基金条例案
- 第8号 木づかい木くばり木そだて条例案
- 第9号 ししゃもの日を定める条例案
- 第10号 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案
- 第11号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案
- 第12号 町営バス運行条例の一部を改正する条例案
- 第13号 町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例案
- 第14号 町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
- 第15号 町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
- 第16号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例案
- 第17号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 第18号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 第19号 高齢者グループホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 第20号 高齢者生活交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
- 第21号 町営住宅管理条例の一部を改正する条例案
- 第22号 上水道事業給水条例の一部を改正する条例案
- 第23号 令和6年度一般会計補正予算（第9号）
- 第24号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 第25号 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 第26号 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 第27号 令和6年度上水道事業会計補正予算（第3号）
- 第28号 令和6年度下水道事業会計補正予算（第2号）
- 第29号 令和6年度病院事業会計補正予算（第1号）
- 第37号 課設置条例の一部を改正する条例案



1日目



2日目③



2日目②



2日目①



3日目

## 【発議】

- 発議1号 議会議員の定数を定める条例の一部改正する条例案について
- 発議2号 議会委員会条例の一部を改正する条例案について

以下は令和7年度各会計予算審査特別委員会に付託し審査されましたので、P6～P9をご覧ください。

- 第30号・一般会計予算
- 第31号・国民健康保険特別会計予算
- 第32号・後期高齢者医療特別会計予算
- 第33号・介護保険特別会計予算
- 第34号・上水道事業会計予算
- 第35号・下水道事業会計予算
- 第36号・病院事業会計予算



コロナ禍をへて

## 【報 告】

◆専決処分損害賠償の額の決定に関する件

●報告1号 公道を走行中相手方の車両に損害を与えたもの。

賠償額 49万1198円

## 【同 意】

◆教育委員の任命

●穂別212番地5

紀藤 康宏氏（再任）

## 【議案審議】

### 主な質疑

◆議案3・4・5・6号  
公の施設に係る指定管理者の指定に関する件

問 大松紀美子議員 ①運営方法等について、指定管理者を「まちまかない㈱スクラム」の名は今日初めてお聞きします。「シオニー」

さんからスクラムに名称が変更されたことを特別委員会の中で事前に知らせていただくべきではなかったのではありませんか。  
穂別まちなか交流拠点施設等に係る指定管理者の詳細は。  
②スクラムに町は出資していますか。

あった場合、経営応援支援の考えは。

答 これまで手続きにのつとり、もう1度確認し合いながら進めていきます。

問 佐藤守議員 おおまかなランニングコストは。

答 光熱水費が120万円程度。警備費、清掃分、電話の設備補修、除雪経費等で2100万円ほどになる予定です。

問 古内みゆき議員 指定期間を10年にした理由は。

答 プロポータル方式で契約の際に運営期間は10年としており、運営者が頻繁に変わることなく運営することが求められている為です。

問 北村修議員 温浴力フェの運営方法は。

答 園より運営改善報告書が提出され、土曜日の勤務について今後、複数体制の配置をとっていくといった回答がされています。

問 小坂利政議員 指定期間が10年で、何か変更が

①名称変更について事前に知らせなかった事について配慮が欠けていました。名称変更の経過について丁寧に説明すべきでした。お詫び申し上げます。

②町は出資していません。

答 自主運営事業となつています。

問 大松議員 穂別キャンプ場の指定業者の詳細は。

答 地域おこし協力隊として活動された方で、昨年起業した会社です。これまで同様5年の指定管理となっています。

◆令和6年一般会計補正予算  
●こども園運営支援事業費  
△1958万円

問 北村議員 さくら認定こども園への北海道から指導監査の詳細は。

答 園より運営改善報告書が提出され、土曜日の勤務について今後、複数体制の配置をとっていくといった回答がされています。

●地域おこし協力隊活動支援事務費  
▼8058万円

問 奥野恵美子議員 地域おこし協力隊の報告会の詳細は。

答 3月17・18日に開催します。今後も募集に力を入れていきます。



おめでとう

## 【発議】

◆発議1号 議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案について

●「13人」を「11人」に改める。

●次期改選から適用します。

◆発議2号 議会委員会条例の一部を改正する条例案について

●課設置条例改正に伴う議会委員会条例の改正をするものです。

## 【意見書】

◆高額療養費制度の見直しの撤回を求める意見書  
提出者 大松紀美子議員

◆高等学校の学費軽減・奨学金返済の負担軽減を求める意見書

提出者 北村 修議員



砺波市プリンセスチューリップ

◆政府に食料自給率向上、「令和の米騒動」を繰り返さないための政策を求める意見書  
提出者  
経済文教常任委員会

東 千吉委員長

\*全件可決されました。

## 町議会では 出前議会を実施しています

町民の皆さんに積極的に町政参加をいただくため、「意見交換」を行い、多様な意見を議会活動に生かします。

申込み手続きなどは次のとおりです。お気軽にお申し込みください。

- 1 対象者 町民5人以上のグループ及び町内に住所を有する法人
- 2 テーマ 町政及び議会活動に関すること。
- 3 実施時間 平日の午前9時～午後9時までの2時間以内
- 4 実施場所 町内に限ります。(地域の会館などを手配願います。)
- 5 申込方法 議会事務局にお問い合わせのうえ、希望日の7日前までに所定の申込用紙でお申し込みください。
- 6 議員派遣 ご希望内容を検討し、議長が必要な議員(若干名)を派遣します。

議会事務局(本庁舎) ☎42-2486

両地区中学校入学式



表紙の  
写真

## 議会事務局からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 第1回臨時会

1月28日に開催し、議案1件を可決しました。

### 【議案審議】

◎一般会計補正予算  
(第8号)

1億711万円を追加し、総額111億7114万円。

●公有財産管理事務事業  
1188万円

●物価高騰対応重点支援  
地方創生臨時交付金活用  
事業(繰越明許費)  
9113万円

**問** 大松議員 河川事務所  
購入の経過は。緊急性は  
あったか。

**答** 利用実績があり、町づ

## 第1回全員協議会

1月28日開催

◎むかわ町事前復興計画  
(案)

事前に復興に関する準備を整えておくことで、災害発生後に早期に復旧活動を開始出来るようになります。特に南海トラフ巨大地震のような大規模な災害が発生した際に、その効果が発揮されます。

## 第2回全員協議会

2月28日開催

◎第1回定例会に係る事件等の説明

◎むかわ町立地適正化計画(素案)

これまでの土地利用規制やインフラ整備だけでなく、まちの中で行われる住民や企業の活動に着目し、居住や開発等を誘導する地域を定めることでまちの課題解決につながる新たな仕組み

です。

◎町営バス路線改正の概要

バス運転手不足が深刻になっており、町営バス委託事業の負担を軽減していく必要があります。令和7年4月1日より、鶴川・穂別地区の町営バスを統廃合等を行い、持続可能な公共交通の運営を行います。

令和6年度  
「むかわ学Ⅱ」探究  
活動報告会  
2月19日開催

鶴川高校生が、9つのグループ毎の課題に意欲的に取り組み、結果を整理・分析し発表しました。  
10名の議員が出席し、提言・助言を行いました。



1日 和泉小で所蔵していたひな壇飾り35年振りに披露

# 最大

# 107

## 一般会計予算

# 億円!!

# 予算 審査

前年度対比 14.4%増

\*議長を除く12名により多くの質疑があり主なものを掲載しております。  
詳しくはQRコードからご覧ください。

### 令和7年度 予算総括表

(単位：千円・%)

会計名		本年度予算額	前年度予算額	増減率
一般会計		10,771,751	9,417,173	14.4
特別会計	国民健康保険 保健事業勘定	1,182,150	1,177,272	0.4
	特別会計 直診勘定	517,289	585,426	-11.6
	後期高齢者医療特別会計	178,270	169,403	5.2
	介護保険特別会計	1,012,322	962,984	5.1
公営企業会計	上下水道事業会計	547,301	504,905	8.4
	下水道事業会計	529,940	580,126	-8.7
	病院事業会計	379,687	358,473	5.9
合計		15,118,710	13,755,762	9.9



1日目



2日目



3日目

## 企画費

◎復興拠点施設等整備事業 I 10億6071万円

**問** 佐藤守・北村修委員

新たな土地購入の内容は、管理委託料の中身は。

**答** 商店街の賑わいの創出を推進する為、町有地が少ない現状であり、改善するような形で計上しました。

委託料については、臨時会で議決された継続事業費として、令和6・7年度の工事管理委託料が含まれています。

◎恐竜プロジェクト事業 3620万円

**問** 佐藤・北村・栗原健一・古内みゆき・津川篤委員

①町への誘客、収入につながるコンテンツの開発とは。

②支援業務委託料の増額要因は。

③新たな誘導看板の考えは。

**答** ①今年度はデジタル案内ガイドを活用し、恐竜をテーマに滞在時間を延ばすコンテンツを整備します。

②新博物館オープンに向けた恐竜フェスタのPR強化で、今年度は鶴川地区で開催予定です。

③有効な財源を活用しつつ、町内の各団体と連携して進めていきます。

◎タウンプロモーション戦略推進事業 3642万円

**問** 佐藤・北村・奥野恵美子委員

事業内容と委託料の内容は。

高校の間口の問題もありいつ形となって発信できるのですか。

**答** 町内高校の存続を図るための事業です。鶴川高校の魅力化の取組を活用して子育て世代へのまちのPRを行う事業です。

プロのクリエイターによる、高校生と共同でアニメーション制作とタウンプロモーションムービー(まちのPR映像)の制作と発表費用で3002万円とされています。

財源は、国の過疎地域持続的発展支援事業交付金と新しい地方経済・生活環境創生交付金を申請しています。

翌年度にすぐ繋がらなく

# 令和7年度予算 むかわ町

3月12日から14日の3日間、予算審査特別委員会（大松紀美子委員長）において令和7年度一般会計・特別会計・企業会計を審査しました。

## ●なぜ合併後最大の額に？

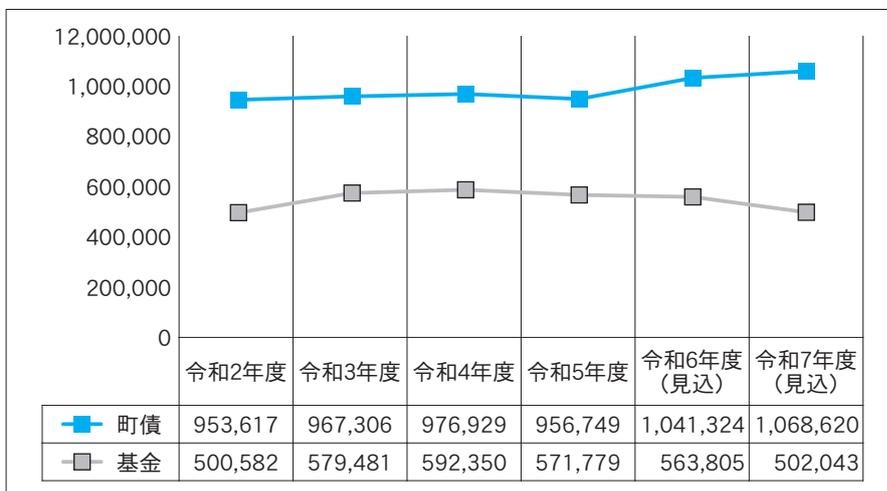
物価高騰による賃金の上昇や、社会保障費、業務関連システムの更新や復興拠点施設整備事業Ⅰをはじめとするインフラの整備及び超寿命化に関わる新規と継続事業の実施によるものです。

## ●財源はどこから？

新規事業等に関わる国の事業あるいは道の資金も合わせて特定財源の確保と共に特定目的基金の取り崩しや地方債の発行による財源の振替を行っていきます。

## ●貯金と借金の今後は？（一般会計）

(万円)



でも、事業の継続により高校生の取組をブラッシュアップしながら魅力の発信をしていきます。

◎まちなか再生事業  
451万円

**問** 北村・古内委員 ① 鶴川地区の復興計画は。  
② 穂別スクラムプロジェクトと委託費の関係は。  
③ 地域資源を活用した商品開発とは。復興拠点施設整備のPRとは。

**答** ① 現在ヒアリングを整理し、成果につなげます。  
② 地域運営組織の活動支援と北方建築研究所への委託費として48万円です。  
③ カポチャを使った商品を開発中で、新博物館オープンに、食や資源を活用したイベントPRを検討します。

◎DX推進事業  
486万円

**問** 北村・古内委員 町の基本的な考え方、方向性は。電子決済文書システムの内容は。

**答** 行政業務の効率化を目的に、3つの基本方針を策定しました。国の標準仕様に基づき20業務をシステム化します。

両地区間の文書運搬コスト削減のため、\*クラウド化や電子決済、文書管理システムの導入を進めます。

\*クラウド化…外部事業者のシステムサービスを利用すること。

## 交通輸送対策費

◎サポート交通実証運行  
支援事業 776万円

**問** 東千吉委員 穂別地区の利便性の確保についての協議は。町内利用料金は無料ですか。

**答** 穂別スクラムプロジェクトの話し合いを経て、有志の会が組織化され、2月にNPO法人「ゆうほ」が道の認証を受け、運行事業者として活動予定です。

まちなか交流拠点施設完成後に予約を受け、運行開始をします。  
実証実験期間は無料です。

## 老人福祉費

◎見守り支援システム事業 180万円

**問** 中島勲・北村委員 見守り支援システム事業委託料及び、機器導入費助成金の内容は。

他の商品会社も選択肢に入れる考えは。

**答** 委託に係る部分は、75歳以上の独居者や要支援・要介護認定者などを対象にSIM入りのLED電球を設置し、24時間動きがない場合に通知が届く見守り機能を提供します。費用は町が全額負担します。  
助成金は65歳以上の高齢者の世帯や、65歳未満の重



カムイノミ

度障がい者、要支援・要介護認定者などを対象に、見守り機器の初期設置費用として上限1万円です。

支援センターで比較検討し、工事不要な安価で、依頼時の訪問対応が可能なサービスができるところに選定しました。

## 林業振興費

◎むかわ町林業担い手育成支援事業 100万円

**問** 北村委員 助成対象者や見通しと受講料は。町長が特別に認めるものとは。

**答** 苫小牧広域森林組合と町内の林業事業体14社が対象で、個人の林業主にも対応する制度を整備します。  
受講料は事業所ごとに異なり、都度対応します。  
町長が認めるものは、新

たな林業資格に対応するための措置です。

## ふるさと振興費

◎地域おこし協力隊活動事業 1億2162万円

**問** 奥野委員 行政連携型の地域おこし協力隊業務支援の1名の仕事内容と事業費2600万円の内訳は。

**答** これまで担当職員が行っていました協力隊全体の調整や連携を図り、業務



春のおとずれ

の進捗状況の管理等を行うものです。

年間の報酬、活動費と交通費も含め1名520万円の予算です。

## 保健体育総務費

◎部活動地域展開事業 832万円

**問** 奥野・北村委員 協議会の設立のめどは。

実証事業の委託金の、クラブの予算は。既存の5つクラブは。一定のレベルを育て上げている少年団等のモデルを参考にして生徒や保護者、関係者との理解に時間をかけては。

**答** 4月以降、委員の選定依頼等を行います。早い段階で協議会を開始し、民間化したクラブへの講師派遣の費用が中心で実績に基づ



チャリティーコンサート

く委託事業経費となります。 鶴川地区はバトミントン、ソフトテニスと野球で穂別地区はバドミントンと陸上となつていきます。

一番大きな課題は、安全安心で持続可能な指導体制の確保であり、関係者への説明会や協議会で本町の実態に即した取り組みを進めながら、指導者が確保できる種目から精力的に民間化にチャレンジをしていきたいと考えています。

## 歳入

◎町債について

12億3300万円

**問** 北村委員 今後の財政フレームの変化は。

**答** 今年度、来年度も大型事業が続いていく中で、適正な事業配置をしていきます。今後、起債の償還額も含めながら正確な未来設計を示していきます。

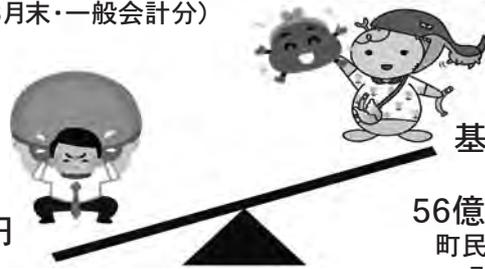
## 一般会計総括

**問** 小坂利政委員 今年度で合併20年となり、将来における財政的な心配というところも含めた町の考えは。

**答** 今年度の一般会計予算は、合併以降最大規模です。これまで限られた財源の中で必要な事業を進めつつ、

## 町債(借金)と基金(貯金)の状況 (令和6年度3月末・一般会計分)

町債  
(借金)  
104億1324万円  
町民一人あたり  
14万5395円



基金  
(貯金)  
56億3805万円  
町民一人あたり  
78万7217円

令和7年3月末人口：7162人

財源確保に努めてきました。震災復旧後の持続可能な財政運営のため、中期財政運営指針に基づき新たな財政フレームを検討し、地方創生や地域の稼ぐ力向上を図り、第2次まちづくり計画後期へつなげ、活力あるまちづくりを進めます。



新発見！

## 国民健康保険 特別会計予算

**問** 北村委員 国民健康保険の算定基礎に、道との違いがありますが、町独自の考えは。

**答** 軽減対策については、保健事業給付に必要な保険料を算出した中で、決められた軽減を行なってきており、今後においてもその手続きは変わりません。

## 上水道事業会計 予算

◎事項別明細書の全般

**問** 東・北村委員 総係費の仁和水源基本計画策定委託料(308万円)の中身は。

上水道の老朽化について調査、計画の必要性は。

**答** 水源地対策として概算事業費を算出し、総合的に検討するための予算です。5〜6月の入札を経て、来年2月までに計画を策定予定です。

能登半島地震の影響で耐震補助が増加しており、更新の計画を進めています。穂別地区は、漏水箇所があるため優先的に対応し、鶴川地区は漏水が少ないため、浄水場の耐震化を検討しています。

# むかわ町のここが聞きたい!!

3月定例会では、7人の議員が15件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、11ページから17ページです。

## 11ページ 大松 紀美子 議員

- 行方不明者発生時は「役場へ」と周知を
- 法人との協議は
- 信頼される病院づくりを

## 12ページ 東 千吉 議員

- 水田農業の確立を
- バス予約の利便性が非常に悪いが
- 豊かな人生づくりを

## 13ページ 津川 篤 議員

- 宮戸小学校、改修工事の詳細は

## 15ページ 伊藤 恵美 議員

- ハラスメント対策は

## 14ページ 栗原 健一 議員

- 今後の穂星寮の運営体制は

## 17ページ 北村 修 議員

- 地域が主体で取り組む地方総合戦略で
- 脱炭素化で再エネ計画の推進状況は！
- 川を生かす町づくり事業に期待！

## 16ページ 古内 みゆき 議員

- 放課後子ども教室の安全対策は

※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。

※動画を視聴する際の料金は無料ですが、スマートフォン等のデータ通信料が発生しますので、予めご了承ください。

※サイト上に掲載されている広告等はむかわ町と一切関係ありませんので、広告の閲覧等によって受けた損害等は、いかなる理由でもむかわ町では責任を負いません。

## QRコードで簡単アクセス



各議員の一般質問ページにあるQRコードを読み取ると、動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」で、録画映像をご覧いただけます。

# 行方不明者発生時は「役場へ」と周知を

## 連絡先の周知を図ります



おおまつ きみこ 議員

OHMATSU KIMIKO

うことはなかったのではと残念でなりません。

家族が行方不明になった時に、「まず初めに役場に通報してもらう事」を、広く町民に知らせる事が必要と考えますが。

**答** 最初に役場に通報があった場合も、そこから警察に連絡をします。

行方不明者の発生時の連絡先について検討し、広く住民への周知を図っていきます。

**問** 昨年11月に町民の方が行方不明者になりその後発見されました。

家族が警察に通報したのは行方不明になったその日の夕方でした。

しかし警察から役場に連絡が来たのは次の日の9時という事です。

その日のうちに探すことができたなら、大切な命を失

**答** 一般的にはまず警察へ通報し、警察が状況を把握

その後関係機関や自治体への連絡を行い捜索の協力を求めることになっていきます。今回の件について、役場への連絡がなぜ翌日の時間帯になったのかは把握していません。

**問** 鶴川派出所は不在も多く連絡がつかない場合があります。

110番通報でも良いのですか。

### 法人との協議は情報交換をします

**問** 介護保険第9期計画で、特別養護老人ホームなど高齢者居住環境の整備を行うとしていきます。

関係機関との協議は進んでいますか。

また10年後の、両地区それぞれの特養ホームの必要な床数は何床と考えていますか。



有意義な意見交換

**答** 施設サービスのあり方や進め方について両法人と情報交換を行っています。基礎的調査、分析に必要な資料を法人に提供し、法人の計画作成に役立てて頂きたいと考えています。

7年度中に施設整備の素案を作り、8年度には第10期計画に反映させる考えです。床数については保険者として望ましい床数を、目安として示したいと考えています。

### 信頼される病院づくりを

#### 相互理解を進めます

**問** 「鶴川厚生病院経営強化プラン」作成後、経営は改善されていますか。

また「地域ケア病床」は何床に増床する考えですか。プランでは患者増をめざすとしています。患者と医師の信頼関係が一番大切と考えますが。

**答** 作成後に経営改善は進んでいます。

ケア病床は現在40床中18床ですが、今後6床増やし、一般病床16床、ケア病床を24床にする計画です。

患者の声が届く手立てとして、ご意見箱を設置しています。

住民に理解され信頼される医療機関としての取り組みを進めます。

# 水田農業の確立を

## 地産地消、有機農業、ふるさと納税は調査検討します

ています。

**問** スマート農業に代表される有機農業の取り組みは、

**答** 土壌診断と基本技術の励行により、収量増と高品質米生産に取り組んでおり、普及センターやJAの指導により病害虫防除や環境に配慮した対策を講じており、更なる減農薬や有機肥料の利用促進を行っていきます。

**問** ふるさと納税の返礼品として米を扱い、商店で店頭販売出来る可能性は。

**答** 現在穂別産米の取扱は、3団体が登録しており、今後も団体からの相談に対応します。

商店で返礼品を取り扱う

ことは。改めて調査検討していきます。

**バス予約の利便性が非常に悪いが**

**ネット予約を今後検討**

**問** 町営バスが全て予約制に変更されます。今後DX推進も含めて24時間体制がとれませんか。

**答** 24時間体制については現在考えておりませんが、効率的な運営について検討します。

DX・LINE・ネット予約による予約は利便性が高まることから検討していきます。

**豊かな人生づくりを**

**検診や保健指導を行います**

**問** 町民の健康について、健康の3原則、食事・睡眠・運動により、健康的な毎日を過ごし、病気を減らし、通院を減らし、豊かな人生づくりが幸せの第1歩です。食に関して町民の食育については。

**答** 第3期むかわ町健康増進計画健康むかわ21で取り進んでいます。乳幼児から高齢者までライフステージに応じて支援・検診や保健指導でおこなっています。健康講座や広報活用で普及に取り組んでいる他、食生活習慣の改善、目標を設定して、認定こども園や学校などで講話を開催していきます。

**問** 地方創生推進交付金利用の取り組みは考えていますか。

**答** 健康づくりと食育の推進運動の取組みを進めていきます。



レタスは最盛期

**答** 学校給食は全てむかわ産、愛誠園やさくら認定こども園は穂別産米を利用し

**問** 穂別地区の水田面積は、更なる畑地化が続いています。水田農業の経営規模の減少が続いております。地産地消、地元消費への利用促進は。



あずま ちよし 議員  
AZUMA CHIYOSHI

# 宮戸小学校、 改修工事の詳細は

## 町民にメッセージを届けます



つがわ あつし  
津川 篤 議員  
TSUGAWA ATSUSHI

不能なことから工事中止、  
契約解除に至りました。

**問** 基本設計の際に何を基  
準にして設計しましたか。

**答** 建築設計業務委託共通  
仕様書をもとに建物の用途  
変更にかかる特記の使用に  
て設計業務を発注していま  
す。

**問** 欠陥ほどの段階でわか  
りましたか。

**答** 10月17日の外部詳細調  
査の結果、専門家の報告を  
受け危険構造物と判断し、  
その時点での建物の危険構  
造物の判定ということで、  
工事中止に至りました。

工事費の支払いは、本庁  
の工事請負契約書の情報に  
基づき、契約解除後の出来  
高確認により最終生産額を  
支払いました。

**問** 胆振東部地震の際、体  
育館も災害を受け改修工事  
行いましたが、校舎は確認  
しなかったのですか。目視  
でわかるくらいの傾斜がつ  
いていたという証言もあり  
ます。なぜ設計に生かされ  
てなかったのですか。

今回、総額3500万程  
の無駄な金を使い、解体工  
事も必要な為、さらに1億  
円以上の金額を投資する必  
要があります。

**答** 建物自体は健全である  
と判定し、建物の異常を示  
す兆候はなかったと改修工  
事に発注しました。途中、  
建物の傾斜具合が分かりこ

**問** 不祥事に対する責任は  
町長にあると思えますが、  
町民から町長は責任を何も  
取らないのか。という声が  
あります。

れ以上の工事の遂行は出来  
ず、基礎を手がけるとあま  
りにも大きな費用、時間が  
かかる為、工事中止となり  
ました。

**問** 普及センターの移転に  
ついて去年12月、町長の行  
政報告の中で早急にこれに  
対応したいということのこ  
とでしたが。

**答** 胆振農業改良普及セン  
ター東胆振支所が本町に所  
在していることは、農業に  
大きな存在であり、早い時  
点で移転場所の決定ができ  
るよう北海道と協議を進め  
ています。

ています。  
利用用がされていた時に、  
事故等が発生しなかったこ  
とが、何よりと捉えていま  
す。

宮戸小学校の閉校式には  
出席し現地も見たいですが、  
素人が見てもわかるという  
情報提供があれば、こう  
いったこともなかったのか  
と思います。

今後に向けて反省と行政  
報告を、基準ルールを明確  
にしなが町民の皆さんに  
メッセージをお届けできれ  
ばと思います。



どうする旧宮戸小学校

**問** 令和六年10月7日に工  
事施工業者より建物傾斜の  
報告を受け、内部外部の目  
視調査、外壁基準測定を実  
施。10月17日に外部基礎詳  
細調査を行った結果、建物  
の基礎杭に深刻な損傷が確  
認され、これ以上工事遂行

# 今後の穂星寮の運営体制は

## 令和7年度から民宿に機能を移行します

**問** 穂星寮について、令和7年度の運営委託料が減額となっています。具体的な変更点は。

**答** 寮の現状について、次年度4名に対し63部屋と大きいいため、人件費、光熱費の部分をサポートに勘案し、見合った適正規模で適切な運営プランを練っています。具体的なところは、予算審査特別委員会でお話します。

全体的には、2040万円の減額です。

**問** 変更後、委託事業をされていた方への今後のサポートケアについての考えは。

**答** 委託事業者に対しては

説明を行っていますが、1事業体の従業員について町が関与することはありません。

**問** 廃止になる寮の活用については。

**答** 廃校後の活用については未定です。穂別高校閉校までの期間について運営効率を踏まえた寮運営の適正化を図りつつ支援、継続を行います。

※令和7年度予算審査特別委員会の中で、具体的な答弁がありました。

**問** 令和7年度、運営委託料の減額内容は。

**答** 減額要因は、民宿の方に機能を移行するものです。

今まで舎監3名、生活指導員2名の合計5名でしたが、次年度は生活指導員2名の給与費で減額、それに伴い光熱水費の減額が大きな要因です。

**問** 民宿になるのであれば、一般客との対策については、保護者に対しての説明は。

**答** 令和7年度は生徒が4名、舎監室として24時間サポートできる常駐部屋を一つ合わせて5つの部屋を確保します。一般客から離れた固まりで部屋を確保し、パーティション等々で配慮をしていく考えです。

これからも、高校側と教育委員会、舎監と月例会議を開き、引き続きサポートしていきます。

保護者の説明については、2月1日に行い、生徒と保護者が同席して説明をし、1週間相談する機会を設け、理解を得られています。



明るい未来に向かって



くりはら けんいち 議員  
KURIHARA KENICHI

# ハラスメント対策は

## 相談窓口の設置をしています

**答**

相談者のプライバシー

**問** 相談があった場合の調査・対応方法は。

**答** 目標管理として、1年間の工程を確認しています。ヒアリングを行い、お互いに話し合いをしています。

**答** 所内の管理職としていますが、状況に応じて所外（総務財政課・企画町民課）に相談窓口を設置しています。相談者に関しては不利益な取扱いを受けないように留意し対応しています。

**問** \*360評価等も有効と思うが。

**答** 職場内のコミュニケーションが活性化されるよう管理職会議等で確認しています。

**問**

相談窓口の設置は。

**問** ハラスメント対策の取組みを評価するための指標は。

**答** 診療所全体としてはできていません。各部署でのハラスメント防止に関する規定の共有や確認をしています。

**答** 事案の内容により、必要時は所外の相談窓口と連携しながら対応します。

**問** 防止の為の研修の実施は。

**答** 配慮しながら、速やかに調査・対応することとしています。



伊藤 恵美 議員

ITO MEGUMI

部下が上司を評価することは行われていません。

**問**

言葉一つ、態度一つが

個人の人生を左右しかねないことを十分に考慮したハラスメント対策の取り組みを。

**答**

ハラスメントの認識に

関しては、個人の尊厳・人権に関わる行為であります。事業者にとっても業務への支障・人材の損失・社会的評価への影響も与えかねない問題なので、しっかりとした法令に基づき対策を確実に行うことが重要です。

町としては、認識に基づきながら関係分野と連携し、相談窓口を通してハラスメントを含む労働相談に応じ、研修会を通しハラスメントの防止・監視を徹底していきます。

\*上司や部下、同僚など立場が異なる人から対象者を評価する手法、多面評価とも呼ばれる。



# 放課後子ども教室の安全対策は

## 契約に沿った事業の履行をさせます

**問** この事業について、安全対策は十分に行われていますか。

**答** 現在、町の方で実施しています。

放課後子ども教室のアンケート結果では、中間集計ですが、多くの保護者の皆様に満足していると回答いただいています。

一方で安全対策に不安を感じているとご意見もいただいています。

定期的に現地に出向き、事業が安全に行われているか確認します。

今回のアンケート結果を検証し、引き続き保護者の不安を取り除き、子どもたちが安全に過ごせる居場所

づくりに向けて努めていきます。

**問** この事業に対し必ず2名のスタッフがついて事業は行われていますか。

この事業にに対し必ず2名のスタッフがついて事業は行われています。

事業者は2名ときいていきますので、物理的に2名が別の場所に存在するのは無理だと思えます。

**答** 実績報告では必ずスタッフと地域先生というパ

ターンもあります。1人になつてはいません。

**問** 事業の実施中にアクシデントが起こった場合、子どもたちから目を離すこと

があると思います。

その間に何か事故が起こった場合、地域先生しかその場にいなければ、責任は地域先生が取られるのでしょうか。

**答** 子どもの安全対策とい

があれば、契約に沿った事業の履行をさせるように、正しながらしっかりと指導していきます。

**問** 父兄から、楽しく

子どもたちが参加して

いるのは本

当にいいこ

とだが、安全対策につ

いて納得で

きないとい

う方々がいらつしゃいます。



福は内

**答** より安全安心な取り組みができるよう努めていきたいと考えております。

子どもたちの安全に活動できるようにしていただければ幸いです。

※特産品開発について質問していますが、割愛しています



ふるうち 古内みゆき 議員

FURUUCHI MIYUKI

# 地域が主体で取り組む 地方総合戦略で

## 成果と反省を活かし 自治体として政策実施に



北村 修 議員  
KITAMURA OSAMU

る姿勢が必要ではありませんか。

**答** 新しい地方創生は現在基本姿勢だけで政策などは夏までにとされ、町では「まちづくり計画」見直し等に創生総合戦略の見直しという方向で考えます。

地方創生については、課題もあります。これまでの成果と反省を生かしてと考えています。共創等で持続可能な活力ある地域社会に自治体として大胆な政策が実施できるよう国にも要請していきます。

地方創生については、課題もあります。これまでの成果と反省を生かしてと考えています。共創等で持続可能な活力ある地域社会に自治体として大胆な政策が実施できるよう国にも要請していきます。

**問** 執行方針に地方創生2・0をの方向を踏まえて推進とある。地方創生がこの10年経過する中、人口減少は止まらずなどの問題があり、今度の方向も地方自治体を育てるより、民間化などで本来の自治体の役割が失われかねません。事業費の関係など地方創生とするなら、地域を挙げた取り組みで自ら総合戦略をつくる

2・0をの方向を踏まえて推進とある。地方創生がこの10年経過する中、人口減少は止まらずなどの問題があり、今度の方向も地方自治体を育てるより、民間化などで本来の自治体の役割が失われかねません。事業費の関係など地方創生とするなら、地域を挙げた取り組みで自ら総合戦略をつくる

### 脱炭素化で再エネ計画の推進状況は！ 小水力、太陽光など調査検討をしている

**問** 脱炭素社会に町地球温暖化対策実行計画、さらに再生可能エネルギー導入計画があります。その後どのような推進状況になって

再生可能エネルギー導入計画があります。その後どのような推進状況になって



いますか。

**答** 小水力発電、太陽光、木質バイオなど町は高いポテンシャルがあります。しかし、水力にしても採算ベースにどうできるか課題が大きく調査、検討にとどまっています。

**問** Jクレジットの推進状況と町有林整備をどう進めていますか。

**答** Jクレジット化に至るまでは進んでいません。町有林でどこまでできるのかを改めて計画を立て直しています。

**問** 再生エネルギーが高い町であり、独自の再生電力事業に進んではどうですか。

**答** ポテンシャルは高いが、事業化までは難しいです。今後の技術革新などで否

### 川を生かす町づくり事業に期待！ 清流を生かした事業として申請中です



す。川辺など自然を生かした地域づくり、サイクリングロードなど新たな事業展開と期待があります。河川を守る事業として、関係機関での事業推進が願われます。見直しは。

**問** 川を全面的に生かしたまちづくり事業計画があると言います。川でつながる両地区に新たな共通の魅力、新たな事業展開に期待しま

**答** 国土交通省の支援登録を昨年行い、清流を生かしたまちづくり事業として、国の費用負担で周辺整備を予定し、現在申請がされ、早ければ年度内に採択の可否が出ると思われま

# 委員会報告

## 総務厚生常任委員会

### DX?とは

【調査日】令和7年2月17日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

## DX推進状況について

### 〈説明〉

DX推進実施計画についての説明を受けました。

実施計画期間は令和6年度から10年までの5年間としていきます。

急速な発展を見せるICT及び社会情勢の変化に柔軟に対応するため定期的な点検・検証を実施し、必要に応じて取り組み事項の追加や修正を行います。

「基本方針1・行政サービスの向上」

- ① 窓口サービスの利便性向上。
- ② マイナンバーカードの普及促進。
- ③ 積極的な情報発信。

「基本方針2・行政運営の効率化」

- ① 庁舎内情報システムの最適化。
- ② ペーパーレス化の推進。
- ③ デジタルインフラの整備。
- ④ 業務効率化ソリューションの導入。

「基本方針3・地域社会の活性化」

- ① デジタルデバイド（情報格差）対策。
- ② 地域活性化に向けたサービス導入推進。
- ④ 先進技術の導入検討。

### 〈主な質疑〉

- ・ 行政内部の改革と実施体制。
- ・ 職員の意識改革とデジタル化。
- ・ 組織内部での推進体制。
- ・ 予算と評価の重要性（有効な補助金活用）。
- ・ ホームページの改善。
- ・ 一太郎とMicrosoft Wordの問題。
- ・ 電子化の進行状況。
- ・ AIの活用。
- ・ 職員の意識改革と進行方法が求められています。
- ・ コンサルタントの利用。
- ・ 高齢者へのデジタル技術の導入。
- ・ 母子健康手帳アプリ。
- ・ 学校と保護者の情報共有アプリ。
- ・ 高齢者見守り支援のためのデジタル技術。
- ・ 高齢者や弱者への配慮。
- ・ 行政の効率化と職員の働き方の変化。
- ・ 地域経済とデジタル化。

### 〈主な意見〉

- ・ 高齢者やデジタル弱者対策が求められます。
- ・ 計画が具体的ではなく懸念があります。具体的な実施計画と財源確保が必要と考えます。

### 〈調査結果のまとめ〉

○ 審査は終了とします。



出前議会

# 委員会報告

## 経済文教常任委員会

### 産業別支援策の検討を

【調査日】令和7年2月18日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

## 商業経済の動向について

### 〈説明〉

#### 1 農業の現状と課題

・ 売上の増加  
 鵜川地区の農業は令和6年度に59億円を超える売上を記録。特に米や野菜（馬鈴薯、ブロッコリーなど）の価格上昇が貢献。

・ 畜産の低迷  
 牛の販売価格が1頭あたり50万円台に低迷し、依然として厳しい状況。

#### 2 水産業の現状と課題

・ 漁獲量の減少  
 サケの水揚げ量が過去最低の21トン、シヤマモは2年連続で操業見送り。

・ ホタテ・ホッキ貝の放流事業の成果によりホタテの漁獲量が3倍に増加。

#### 3 商業経済の動向

・ 平成24年から令和3年にかけて、企業数が73件減少。特に卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業で顕著。

・ 売上の増加  
 全体で69億円の売上増。特に建設業と農林漁業が牽引。

・ 観光業の回復  
 穂別地区の観光PR強化で観光入込数の回復が期待される。

#### 4 地域経済の課題

・ 商店街の衰退  
 穂別地区のシャッター通り化や鵜川地区の空き地・空き店舗の増加が深刻な課題。

#### 5 商業活性化策

・ 商工会との連携  
 商業活性化に向けた意見交換を進め、具体的な支援策を模索。

・ 観光資源の活用  
 博物館や観光施設を活用して観光客を街中に誘導し、商業活動を促進。

### 〈主な意見等〉

#### 1 農業について

**問** 資材高騰の影響が大きく、特に肥料・燃料費の負担が増加しているが。

**答** 地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰対策を実施します。

#### 2 水産業について

**問** サケやシヤマモの不漁が続く中、新たな水産資源の活用が必要では。

**答** ホタテやホッキ貝の放流事業の成果を踏まえ、今後の拡充を検討します。

#### 3 商業・経済について

**問** 商店街の衰退が深刻で、空き店舗の増加が続いているが。

地域内での資金循環を高める施策が必要では。

**答** 商工会と連携し、商業活性化策を検討中です。投資促進策を進め、地域内での資金循環を向上させます。

#### 4 観光について

**問** 観光資源を活かした町おこしが必要では。

**答** 博物館や観光施設を活用し、観光客を街中へ誘導する施策を検討。

#### 5 今後の方針

**問** 地域住民の意見を反映したまちづくりを進める必要があのでは。

**答** 産業別の支援策を整理し、各業界と連携して具体策を検討します。

# 委員会報告

## 復興拠点施設等整備事業 調査特別委員会

温浴カフェの  
開設は間もなく！

【調査日】令和7年1月28日、2月20日の2日間

所管課より説明を受け質疑応答、建設現地調査も行いました。

### 復興拠点施設等 整備事業Ⅰ、Ⅱについて

#### 事業Ⅰについて

##### ① 事業Ⅰの進捗状況

1月9日現在、全体進捗率は17・6%、博物館は12・1%、温浴カフェは24・7%で、順調に進んでいると報告されています。

博物館の基礎工事は完了し、既存博物館の屋上防水工事も完了しています。次回の進捗報告は2月6日に予定されています。

##### ② 資材高騰と設計変更について

資材高騰や品不足の影響は現在のところはありませんが、

##### ③ オープニングイベントを計画

##### ④ 運営と地域経済への影響

温浴カフェと博物館の運営は「シオニー」という共同事業体が行い、「東洋実業」が協力する形で進められます。

##### ⑤ 展示内容と学芸員の役割

博物館の展示は「恐竜」をテーマにした展示が予定されており、展示内容は当初の計画通り進行しています。

##### ⑥ 財源について

「デジタル田園都市国家交付金」と「合併特例債」が使用されています。

##### ●事業Ⅰの現地視察 (2月20日)

2月20日現在の進捗状況は全体で37・5%（博物館棟12・1%、温浴カフェ72・5%）との説明がありました。



#### 事業Ⅱについて

エリアデザイン計画の進捗状況

1月にエリアデザインを策定する予定でしたが、住民や関係事業者との意見交換を重ねる必要があるため、業務委託の期限を3月21日まで延長しました。

#### 計画理念

「町民が主人公」の計画

であり、住民と観光客が交流できる場所の提供をめざします。

#### 〈3つの主要目標〉

- ① 鶴川地区市街地の人口2000人確保。
- ② 各拠点の利用者数を倍増。
- ③ 観光客数を震災前の水準に回復させる。

#### 四季の館のリニューアル

主要な観光交流拠点である四季の館をリニューアルする計画です。

#### 事業Ⅱの意見交換

・住民や事業者との意見交換が終わっていない段階での提案に対し、議会としても意見を出すことは重要だと考えます。

#### 調査結果のまとめ

審査は継続調査とします。

# 令和6年度活動状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間での議員の活動状況を報告します。

## ○各委員会等出席状況

	定例会	臨時議会	全員協議会	議会運営委員会	総務厚生常任委員会	経済文教常任委員会	議会広報委員会	決算審査特別委員会	予算審査特別委員会	復興拠点施設等整備事業調査特別委員会	特別委員会	議会改革等調査審査特別委員会	議会報告会	出前議会	一部事務組合(胆振)	一部事務組合(日胆衛生)	一部事務組合(平取町)	一部事務組合(外2町衛生施設)
委員定数				6	6	6	7	11	12	11	6				2	2	3	
開催日数	10	3	7	10	7	3	12	5	3	6	8	2	2	2	4	2	3	
栗原健一	10	3	7			3	11	5	3	6	8	2	2	2	4			
伊藤恵美	9	3	7		7		9	5	3	6	8	2	1			2		
古内みゆき	10	2	7	○9	○7		11	○5	○3	5	8	2	2					
奥野恵美子	10	3	7	10		3	◎12	5	3	6	8	2	2					
東千吉	10	3	7	9		◎3		5	3	5	8	2	2					3
佐藤守	10	3	7	◎10		3	○12	5	3	6	8	2	2	2	4			
中島勲	10	3	7		6			5	3	6	8	2	2	2				3
大松紀美子	10	3	7	10	◎7		12	◎5	◎3	6	8	2	2					
三上純一	10	3	7	10		○3		(注3)	3	(注3)	8	1	2					
小坂利政	10	2	7		7			5	2	6	8	1	1					
北村修	10	3	7			3		5	3	6	8	2	2					3
津川篤	10	2	6	(8)注5	6		11	5	3	5	(7)注5	2	2			2		
野田省一	10	3	7	(9)	(7)	(3)	(2)	(5)	(3)	(6)	(8)	2	2					

注1 ◎は委員長、○は副委員長になります。

注2 ( )は、委員会に所属していない議員の出席回数を示しています。

注3 決算審査特別委員会、復興拠点施設等調査特別委員会は、監査委員のため三上議員は除外しています。

注4 議長は、すべての委員会に出席することが認められています。

注5 議会運営委員会、議会改革等調査審査特別委員会の決定で副議長は、出席することが認められています。



# 出前議会を開催

出前議会は町民5人以上のグループ及び町内に住所を有する法人の方が町政及び議会活動に関することで議員と意見交換するものです。

今回、愛誠会、NPO法人マーシユからの申込により、議員12名が対応しました。それぞれの分野での意見交換があり、参加者からの質問、意見等は紙面の都合上、要点のみ掲載します。

## 1月21日（火）14時～ 愛誠会サポーターの会（24名参加）

### ●愛誠園の当面の課題と改築について

●愛誠園は、昭和50年度新築、52年度西館増築、老朽化激しく、特に水回り（配管からの漏水）、電気暖房施設、入浴施設の改善（特浴設備・脱衣場の狭隘）が必要である。

●快適なサービスの提供、労働環境の改善から全館空調が必要である。

●経年劣化による屋上防水、

壁面改修が必要である。

●利用者の生活環境改善サービス向上の上で、一人当たり面積基準の改正に合わせる必要がある。

●多床室のプライバシー確保の改善が必要である。

●感染症対策の上で、隔離室の確保、介護等職員の行動動線の改善を図る必要がある。

●ロボットなどAI対応の

設備整備（館内アンテナ、モニター設備、見守りカメラ等）が必要である。

●定員の見直しにより他用途へ転用している部屋の整理、「福祉避難所スペース」確保の社会的要請への対応が必要である。

●現行施設ではエレベーターが無く、利用者とその家族等の安全利用と職員の労働環境改善の上で施設整備が必要である。

●法人財政問題喫緊の課題がある。

## 2月7日（金）18時～ NPO法人マーシユ（5名参加）

### ●産業振興について

●一次産業の生産年齢人口減少に対する具体策は。

●ふるさと納税制度の現状は。

### ●教育、福祉について

●子ども子育て支援の成果指標は行政に対して書面化を求めていますか。（放課後子ども教室・エンジヨイサタデー・公営塾）

●町内少年団の活動への支援は現在どのようなようになっていきますか。

●高齢者福祉の今後の展望と診療・介護体制は維持できますか。

### ●まちづくりについて

●まちなか再生2はどこまで

で進んでいますか。町民の声はどのように取り上げていきますか。

●まちなか再生1の博物館建設予算は。建設後の計画はどのようなになっていきますか。

※今後、内容を整理し所轄事務調査・一般質問で皆さんの意見を町政に反映していきます。

